
2502. 輸出貨物情報登録

業務コード	内 容
CDB01	輸出貨物情報登録
CDB	輸出貨物情報登録呼出し

1. 業務概要

輸出しようとする貨物を保税蔵置場に搬入するのに先立ち、保税蔵置場への搬入予定及び搬入伝票の登録を行う。また、事前に「混載仕立情報登録（HDF01）」業務等が行われ、入力されたAWB番号が輸出貨物情報DBに存在している場合には輸出貨物情報を呼び出す。

(1) 「輸出貨物情報登録（CDB01）」業務の場合

貨物情報を入力することにより、輸出貨物情報に対して以下の処理を行う。

なお、搬入伝票を作成する旨が入力された場合には併せて搬入伝票の登録を行う。

①輸出貨物情報の新規登録

②分割搬入される輸出貨物の追加登録（搬入枝番の払い出し）

③本業務で作成された搬入予定のうち搬入伝票を登録していない輸出貨物情報に対する訂正

(2) 「輸出貨物情報登録呼出し（CDB）」業務の場合

AWB番号または未ラベル番号を入力することにより、輸出貨物情報DBに登録されている輸出貨物情報を呼び出す。

2. 入力者

航空貨物代理店、通関業、混載業、航空会社

3. 制限事項

①1業務で入力可能なAWB件数は、最大50件とする。

②同一搬入伝票に登録可能なAWB件数は、最大50件とする。

③1AWB番号に付与する枝番は、最大20とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 搬入伝票DBチェック

入力された搬入伝票番号が存在しないこと。

(4) 輸出貨物情報DBチェック

入力されたAWB番号が存在する場合は、以下のチェックを行う。

①入力された貨物識別と貨物情報に登録されている貨物識別が同一であること。

②AWB番号に枝番の入力がある場合には、該当枝番が存在すること。

③AWB番号に枝番の入力があるか一括搬入の場合には、搬入伝票との関連付けがされていないこと。

④入力者が輸出貨物情報の作成者として登録されていること。

⑤入力者が混載業の場合は、HAWBであること。

⑥入力者が航空会社の場合は、AWBであること。

⑦混載仕立て済の場合は、入力されたMAWB番号が登録されていること。

⑧保税蔵置場に全量搬入済でないこと。

⑨未ラベルの場合は、分割搬入貨物でないこと。

⑩輸出貨物情報が存在していない場合は、入力された搬入個数の合計が総個数を越えないこと。

- ⑪輸出貨物情報が存在している場合は、入力された搬入個数を登録した後も、搬入済の個数と未搬入の搬入予定個数の合計が総個数を越えないこと。
- ⑫特定輸出申告、特定委託輸出申告または特定製造貨物輸出申告において輸出許可済となっていないこと。但し、「許可・承認等情報登録（輸出通関）（P A E）」業務により、特定輸出許可取消の登録がされている場合を除く。
- ⑬輸出貨物として輸出申告等が行われている場合は、貨物種別の入力が「N：一般未通関貨物」あること。
- ⑭積戻し申告が行われている場合は、貨物種別の入力が「R：積戻し未通関」であること。
- ⑮輸出申告等が貨物全量で行われている場合は、分割搬入扱いの入力でないこと。（搬入枝番の変更を伴う入力でないこと。）
- ⑯輸出申告等が貨物の搬入枝番単位に行われている場合は、全量搬入扱いの入力でないこと。（搬入枝番の変更を伴う入力でないこと。）

5. 処理内容

(1) CDB業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

①総個数、総重量、仕向地及び積込港について、「AWB情報登録（輸出）（ABS）」業務により輸出貨物情報DBに登録されたAWB情報と輸出貨物情報が同一でない場合、または、AWB情報が未登録の場合は、その旨を注意喚起メッセージに出力する。

②登録を行うには再送信が必要である旨の注意喚起メッセージを出力する。

(2) CDB01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、処理結果通知出力処理を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 搬入伝票番号払出し処理

搬入伝票作成要否に「Y」（搬入伝票作成要）、かつ搬入伝票番号が入力されなかった場合は、搬入伝票番号をシステムで払い出す。

(C) 搬入伝票DB処理

搬入伝票番号をマニュアルで入力、またはシステムで払出した場合は以下の処理を行う。

①搬入伝票情報を新規作成する。

②入力された輸出貨物情報を登録する。

(D) 未ラベル番号払出し処理

貨物識別が「L」（未ラベル）、かつAWB番号がスペースである場合は、未ラベル番号をシステムで払い出す。

(E) 輸出貨物情報DB処理

入力された輸出貨物情報を登録する。

(a) AWB番号が存在しない場合

輸出貨物情報を新規作成する。

(b) 入力されたAWB番号に枝番が存在しない場合

入力された搬入個数と総個数が一致するか、または総個数がスペースのときで、分割搬入貨物情報として登録されている場合は、分割搬入貨物情報でない旨を登録する。

(F) AWB番号枝番付与処理

入力されたAWB番号にシステムで付与した枝番がなく、分割搬入貨物情報である場合（搬入個数が総個数以下である、または総個数に「*」（総個数不明）が入力された）は、システムによりAWB番号に枝番を付与する。

(G) 搬入伝票作成処理

「搬入伝票作成要否」欄に「Y」（搬入伝票作成要）が入力された場合は、「搬入伝票」を作成し出力する。

(H) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) CDB業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸出貨物情報登録呼出し結果情報	なし	入力者

(2) CDB01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸出貨物情報登録結果情報	なし	入力者
搬入伝票情報	搬入伝票作成要否に「Y」（搬入伝票作成要）が入力された場合	入力者

7. 特記事項

本業務に入力される項目（品名、仕向地、積込港、総個数、総重量）については、別紙L02「共通項目（航空輸出貨物情報）の登録優先順位」に従って輸出貨物情報DBに登録または更新する。